

# 研修修了生からの声

当院のプログラムは  
こんなプログラムです

私は、こんな感じで  
研修しました



# 琉球大学病院の研修は〇〇なプログラム

県内の複数の研修病院をローテーションでき幅広い経験ができる

自分の関心・学問的興味に合わせて、研修をコーディネートできる

県内の複数の研修病院をローテーションし美味しいとこ取りの研修を行なっている、量と質いいところ取りできる

大学病院の専門性と市中病院のcommonを兼ね備えた幅広い

大学病院での研修医でありながら、複数の市中病院、様々な診療科でも研修ができる

大学病院を中心に研修しつつ、希望の連携・協力病院もローテーションできる

県内の複数の有名、もしくは人気の病院へのローテーションが可能な

大学病院を中心に、市中病院も含めて自由に研修の形を選択できる幅広く、一次から三次まで見ることのできる

# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



1年目は大学病院、2年目は市中病院を多く回りました。

救急、麻酔、集中治療を重点的に経験でき、優秀な指導医との出会いがありました。

興味ある診療科を多く回れるのは、自分には合っていたと思います。

# 私はこのような研修を行いました

## 自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



私自身は2年間で計6施設で研修をさせていただきました。施設が異なることで順応する事に苦労することもありましたが、多くの指導医と接する機会があり、医師として必要な知識や技術を学ぶことができます。

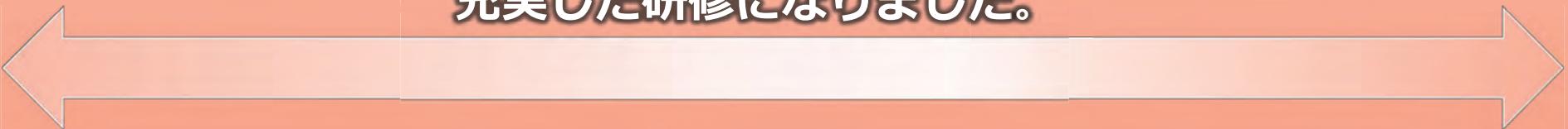
また、他病院の研修医を目の当たりにし、とても大きな刺激を受け、より良い研修生活を送る事が出来、得られるものはとても大きかったと思います。2年間と長い研修生活、多くの刺激を受けたい人に琉球大学病院ていだプログラム(基本プログラム(プログラムA))はオススメです。

# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



私は2年間で大学病院での研修のほかに、県内の4つの病院で研修を行いました。院外研修では、大学病院で慣習的に行なっていることが当たり前でなかつたり、病院ごとに様々なルールや考え方があり、幅広い視野を持つことができ、充実した研修になりました。



# 私はこのような研修を行いました

## 自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



私は大学病院内で14ヶ月、6ヶ所の市中病院で合計10ヶ月の研修をしました。大学病院では複数の疾患を抱える患者さんの診療や、専門研修をしている先輩方の背中をみて自分の将来の診療科を考える機会にも恵まれました。

市中病院では救急科をはじめとした診療科でプライマリケアを学んだり、興味のある診療科が市中病院ではどのような疾患を対象としているのかなど、大学病院とは異なる立ち位置の医療を学ぶことができました。

選択期間も多く、自分でローテーションを組むことができるので、専門研修を見据えたバランスの良い研修ができるとても良かったなと思います。

興味のある診療科の多い方にも、診療科を決めている方にもお勧めです！

# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



大学病院は市中病院と比較して救急やジェネラルの症例が少ないというデメリットがありますが、複数の市中病院でのローテーションも可能であるというメリットもあります。

私自身、ある領域で有名な指導医がいる市中病院でのローテーションを行い、その病院で後期研修を行うことに決めました。

まだ将来の診療科を決められてない方や、複数の病院での初期研修を希望される方にはお勧めの研修プログラムだと思います。

# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



大学病院での研修はポリクリみたいでつまらないと思っていたが、協力病院が多く、選択研修期間も長いので、院外研修に多くの時間を割くことができて有意義な研修になったと思います。

私は友愛医療センター、沖縄赤十字病院、ハートライフ病院といった病院を12ヶ月ローテーション出来ました。いろんな病院で研修してみたい方におすすめです。

# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



琉大病院での研修は市中病院と比べると症例の数は少ないぶん濃密な患者さんが多いです。

1人の患者さんをじっくり診療できますし、治療方針についてもたくさんの上級医と相談して決めることができます。安心して研修にのぞむことができます。

# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



大学病院では当直の制度がなかったため、1年目は積極的に市中病院を選択しその病院での当直も経験させていただきました。

2年目ではICUから緩和医療まで幅広く、それぞれ強みのある病院で研修させていただきとても有意義な2年間でした。

システムが違う大変さはもちろんありましたが、各病院での指導医との出会いやなにより同期たちの活躍する姿を見れたのがとても刺激的でした。

いろんな病院を見てみたい方におすすめです！

# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



私は初期研修をしながら妊娠、出産、育児を経験しました。その中で自由にローテーションが組め、内科や外科や救急を思う存分勉強することができました。大学ならではの色々な疾患を持っている患者さんや稀な疾患の患者さんを診ることもできます。

また、教育熱心で面白い指導医の先生方が多く、医学的なことから個人的なことまでとても相談しやすかったです。

外病院との連携もあり、たすき掛けや院外ローテーションを混ぜることも可能です。志望科の決まっている方も、未定の方も、琉球大学病院で幅広く研修してみるのはいかがでしょうか。

# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)

大学病院は教育機関ということもあり、どの診療科でも先生方が若手を指導することに熱心で教育体制がしっかりしていたというのが印象に残っております。また県内の市中病院ならほぼどこでもローテすることができ、私自身も3つの市中病院で研修をさせていただきました。

病院ごとの環境や文化、考え方の違いを学ぶことができ今後のキャリアにとても役立つ経験ができたと感じております。オンオフもはつきりした研修であり充実した初期研修をさせていただけたと感じております



# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



私はがん治療に携わりたかったので、最先端の治療から緩和ケアまで幅広く学べるように大学病院内外でのローテーションを組んで研修しました。

自分の興味や関心に合わせて、時には苦手の克服のため、自由にローテーションを組めるのは、このプログラムの大きな特徴だと思います。

# 私はこのような研修を行いました

## 自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)

私は精神科専攻を希望しており、初期研修のうちに医師として一定の基礎を身に付けたいと考えていました。

内科・外科・救急科など必修科は大学病院を中心に、精神科は県立や民間の単科病院など、外部の病院でも研修させていただきました。

大学病院では、市中病院ほど症例数は多くないかもしれません、担当症例について、グループの複数の上級医から指導いただくことができ、カンファレンスや勉強会等を通じて、さまざまな症例について、深く学ぶことができました。

また同じ大学病院内であるため、ローテーション先が変わっても、自分自身の課題に対して継続的に取り組むことや、別の科の上級医から助言いただくことも可能な環境でした。

私自身は、その恵まれた環境を十分に生かし切れなかつた反省がありますが、主体的に積極的に動けば、深く幅広い充実した研修が可能になると思います。



# 私はこのような研修を行いました

自由選択コース(旧ていだプログラム/R6年よりプログラムA)



私は眼科を目指して研修していましたが、内科、救急などで全身を診ているうちに、集中治療科を目指すようになりました。

大学病院の内科は希少疾患が多かったため、友愛医療センターの内科でも研修しました。たくさんの症例を経験でき、とても勉強になりました。また当院の救急病棟での研修では、重症患者の管理を学び、中部徳洲会病院ICUでさらに深く勉強する機会を得ました。

沖縄県内ほぼすべての急性期病院で研修できるプログラムだからこそ、各病院のいいとこ取りができ、充実した研修を送ることができました。

# 私はこのような研修を行いました

## 沖縄赤十字病院連携プログラム (R6年からプログラムA：地域連携コース)



市中で回った方が良い科は、市中で回ってから大学に戻ると良いと思います。

大学病院の研修は、アットホームで慣れた環境で研修をスタートさせることができます。

また、たすきがけのプログラムでは、他の病院に1年間身分移動し研修を行うことができます。大学病院での貴重な症例や市中病院での症例など幅広く経験することができます。また、プログラム自体も自由に組むことができ、将来に備えた研修をすることができます。

ぜひ大学病院でのプログラムも検討してみてください。



# 私はこのような研修を行いました

## 中頭病院連携プログラム

(R6年からプログラムA：地域連携コース)

私は中頭病院連携プログラムという1年目を中頭病院、2年目を琉球大学病院で研修を行いました。中頭病院は救急車受け入れ台数も沖縄でトップクラスの病院なのですが、バックアップ体制がかなりしっかりとしており、着実にスキルアップできました。

また、common diseaseも数多く経験することができました。2年目の琉球大学病院では、大学病院ならではの稀な疾患をじっくり勉強しつつ診療にあたることができました。

異なる特徴をもった病院をまわることができ、かつある程度腰を据えて研修を行いたい方におすすめだと思います。



# 私はこのような研修を行いました

## 中頭病院連携プログラム (R6年からプログラムA：地域連携コース)



初期研修の選択にあたって自分の将来の目標が血液内科ということと、研修ではCommonな疾患もたくさん経験したいということから、中頭病院の連携プログラムを選択しました。

1年目の中頭での研修は沖縄での救急搬送件数一位の病院ということもあり、多くの症例に揉まれながら自分の能力を高めることができたと思います。

2年目は琉球大学での研修でしたが、一例一例をより丁寧に診療する機会が多く、ある程度自分の時間も確保できるので、1年目の時に身体をメインで使っていたところとは違い、これまでの疑問などについて頭の中を整理しながら研鑽を積むことができました。

専攻医を見据えた研修をする上では琉球大学病院での研修はおすすめです。

# 私はこのような研修を行いました

南部医療センター・こども医療センター連携プログラム  
(R6年からプログラムA：地域連携コース)



1年目は関連病院で、救急や病棟管理の基礎を  
数をこなすことで経験しました。忙しい分、やり  
がいがありました。

2年目は1年目に分からなかった所を大学という  
場で腰を据えて勉強することができ、力がつきま  
した。

# 私はこのような研修を行いました

## 南部医療センター・こども医療センター連携プログラム (R6年からプログラムA：地域連携コース)



私は大学病院と県立病院でのたすき掛けプログラムで2年間研修をさせていただきました。県立南部医療センターでは軽症から重症まで、また小児から大人まで幅広い患者、疾患を経験することができました。さらには度重なる夜間当直では同期との絆もきづくことができ今でも南部医療センターの同期とプライベートでも遊んだりしています！

大学病院では市中病院では経験できないような難病や高度な医療技術を経験することができました。

2年間でどちらの良い面も経験でき今後の医師としての基盤になったと感じます。これから研修先を考えている医学生の皆様方、是非RyuMICプログラムで研修してみませんか？僕は3年目から琉大病院の救急科に所属しますので一緒に頑張りましょう！